

協議会開催日	委員属性	委員からの意見 ※対応した意見を記載	対応（反映）状況 ※参考事例を参考とし具体的かつ簡潔に記載
R3.7.21	学識経験者	新型コロナウイルス感染患者も県内の新規感染者数に応じた受入をされてるが、収束の見通しが立たない中で今後も場合によっては通常医療を圧迫する事態になる恐れもある。これまでの経験を活かして対応されることを期待している。	新型コロナウイルス感染症への対応については、昨今の新規感染者増加の影響を受け、入院患者の受け入れ数をこれまでの8名から11名に変更したところ。今後も当院では保健所依頼のPCR検査の協力、三重県および四日市市からのワクチン集団接種への協力など、行政と連携しながら取り組んでいきます。
R3.7.21	行政	この度は特定行為指示要請専用回線を設置していただき、誠にありがとうございます。救急現場においては、傷病者の病院収容までの時間短縮に努めている。現在収容依頼は、受付を通じて医師への情報提供を行っており、収容の可否が決定するまで時間を要している。特定行為指示要請専用回線の収容依頼への活用など、収容依頼時の時間短縮について何かご検討いただくと幸いです。	7月から運用を開始しました特定行為指示要請専用回線（救急患者を受け付けた後に救急隊から医師に直接指示を仰ぐ回線）については、今後、事例の検証を行い課題があれば改善を図っていく所存です。収容依頼時の時間短縮に関しては、特定行為指示要請専用回線の活用など、当院の救急検討委員会で検討していきます。
R4.1.11	学識経験者	付属老人保健施設では多方面との連携により、通所者の増加、訪問給食での見守りに成果が見られました。ケアマネジャーの補充を期待します。	介護老人保健施設は、感染対策を十分行いクラスターを発生させることなく入所者、通所者の受け入れができました。コロナ感染前の行事が行えないことやしばらくは面会制限を解除することができませんので、今後の感染状況をみながら検討していきます。